

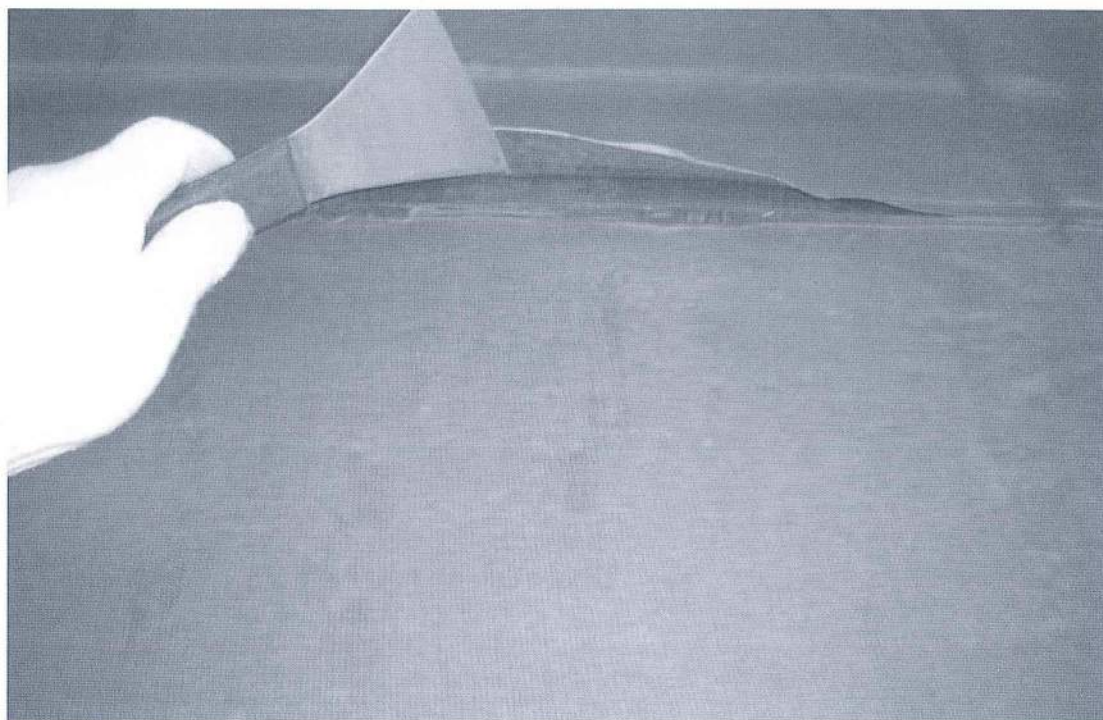
# ASAHI BOND

加硫ゴム防水シートの耐久性向上 加硫合成ゴム系ルーフィングシート防水

再生工法

## ゴムシート防水補修EP工法

従来のゴムシート防水工法では、ゴムシート自身は耐久性に優れ20年以上の寿命があるのに、ゴムシートの接着や接合に用いる材料に問題があり、接合部が剥がれやすく、甚だしい場合には剥がれ箇所から漏水事故を生じています。そのような箇所は、クロロブレンゴム系接着剤と非加硫タイプのブチルゴムテープとブチルシール材を用いて補修されていますが、接合面には塵埃や水分があって十分な接着が得られず、補修しても再度漏水することがしばしばあります。ゴムシート防水補修EP工法は、接合部やシート端末からの漏水を防止するために初めて開発された、EPDM系加硫ゴム防水シートに強力に接着するエポキシ樹脂「ゴムエース」を用いた防水工法です。ゴムシート防水の信頼性を格段に向上させ防水寿命を延長できるので、改修コストを低減することができます。



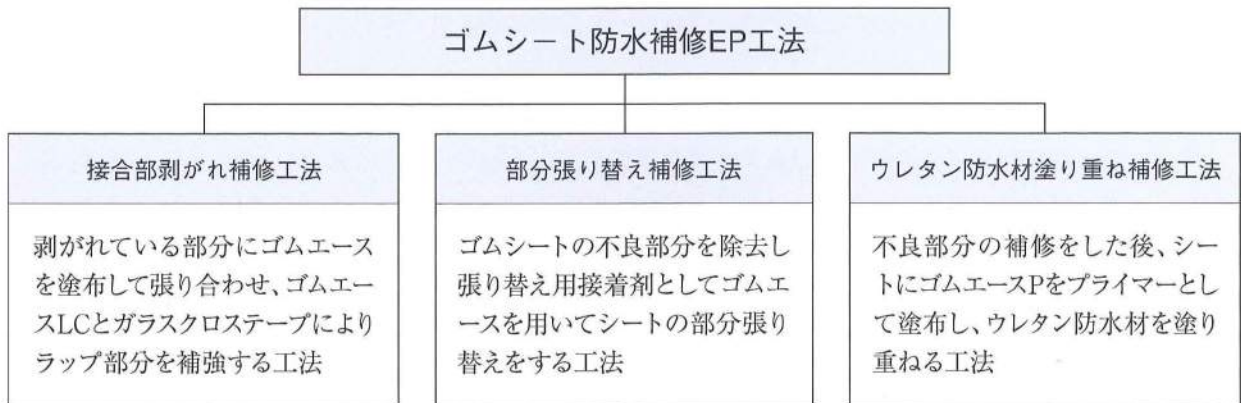


## ■ 特 長

1. シートの接着に用いるゴムエースは無溶剤なので、塗布後すぐ張ることができ、接着ミスを生じません。
2. 接合部が剥がれている個所の既存接着剤やプチルシール材を除去しなくても、高強度に接合します。
3. ゴムエースは、防水シート、コンクリート、金属への接着性に優れています。
4. ゴムエースは柔軟性があるので、シートの伸びにかなり追随できます。
5. プライマータイプをシートに塗布するとウレタン防水材を塗布でき、高耐久性複合防水になります。

## ■ ゴムシート防水補修EP工法

ゴムシート防水補修EP工法は、三つの工法で構成されています。



### ● 接合部剥がれ補修工法

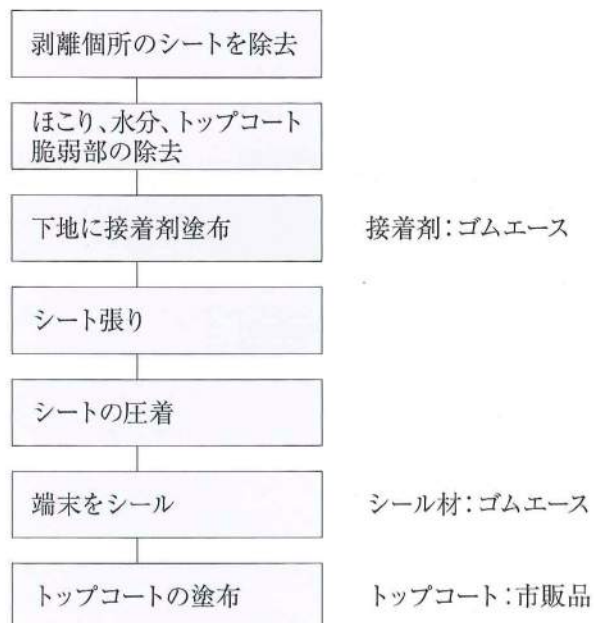


剥がれている部分をよく清掃したうえでゴムエースを塗布する

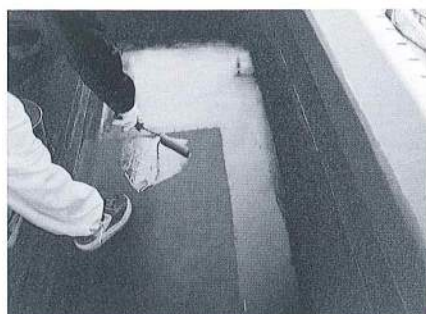
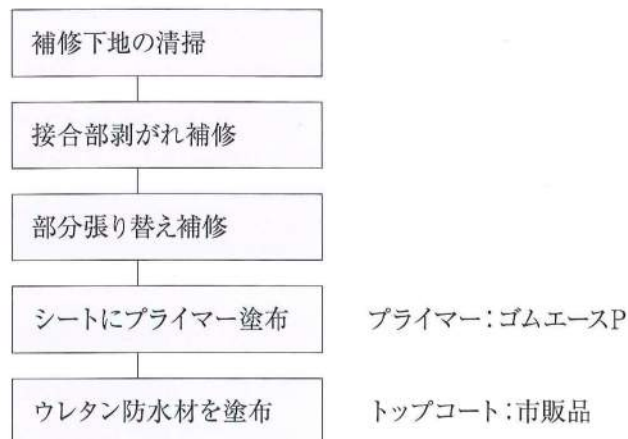


ガラスクロステープにゴムエースLCを含浸させ、接合部を補強する

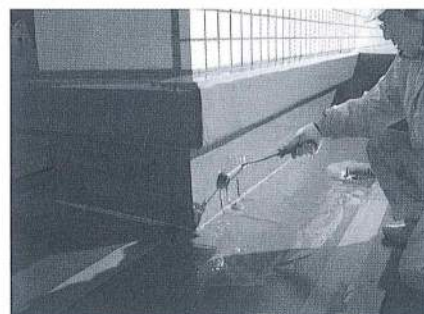
## ● 部分張り替え補修工法



## ● ウレタン防水材塗り重ね補修工法



ゴムシート下地にウレタン防水材のプライマーとして、ゴムエースPを塗布



ゴムエースP塗布後、翌日ウレタン防水材を塗布する

## ■ 標準使用量

ゴムエース	:0.4kg / m <sup>2</sup>	1セットで100 幅の補修 50m分
ゴムエースLC	:0.4kg / m <sup>2</sup>	1セットで100 幅の補修 100m分
ゴムエースP	:0.15kg / m <sup>2</sup>	1セットで40m <sup>2</sup> 分

## ■ 荷 姿

ゴムエース	:2kgセット (主剤 1kg缶、硬化剤 1kg缶) 箱入り
ゴムエースLC	:4kgセット (主剤 2kg缶、硬化剤 2kg缶)、補強テープ100m箱入り
ゴムエースP	:6kgセット (主剤 4kg缶、硬化剤 2kg缶) 箱入り

## ■ 使用材料ゴムエースの性状と性能

### ● ゴムエース（下地及び接合部用接着剤、シール材）

材質・性状

項目	主 剤	硬 化 剤	混 合 物
主成分	エポキシ樹脂	アミン、チオコール	——
外観	グレー色ペースト状	褐色ペースト状	——
粘度 (mPa・s/23℃)	2万～6万	4万～7万	3万～7万
密度 (g/cm <sup>3</sup> 23℃)	1.26 ± 0.10	1.45 ± 0.10	1.34 ± 0.10
配合比 (質量比)	主剤：硬化剤=1：1		——
可使時間 (23℃)	——		約 30分
指触硬化時間 (23℃)	——		約 12時間

ゴムシート接着性能

項目	単 位	測 定 値	破壊箇所
引張り接着強さ	(MPa)	1.23	モルタル 17% 接着剤 83%
引張りせん断最大荷重 (1.2mm厚、25mm幅)	N	90	つかみ間の 250%伸び で破断せず

試験温度：23℃

### ● ゴムエースLC（補強テープ含浸用樹脂）

材質・性状

項目	主 剤	硬 化 剤	混 合 物
主成分	エポキシ樹脂	アミン、チオコール	——
外観	無色～淡黄色透明	褐色透明	——
粘度 (mPa・s/23℃)	1000～6000	500～1500	500～1500
密度 (g/cm <sup>3</sup> 23℃)	1.17 ± 0.05	1.22 ± 0.05	1.18 ± 0.05
配合比 (質量比)	主剤：硬化剤=1：1		——
可使時間 (23℃)	——		約 30分
指触硬化時間 (23℃)	——		約 12時間

ゴムシート接着性能

項目	単 位	測 定 値	破壊箇所
引張りせん断最大荷重 (1.2mm厚、25mm幅)	N	116	つかみ間の 300%伸び で破断せず

試験温度：23℃

●ゴムエースP(ウレタン防水材被せ用プライマー)

材質・性状

項目	主 剤	硬 化 剤	混 合 物
主成分	エポキシ樹脂	アミン、チオコール	————
外観	無色透明	赤褐色透明	————
粘度 (mPa・s/23℃)	1~20	1000~3000	10~40
密度 (g/cm <sup>3</sup> 23℃)	1.00±0.03	1.14±0.03	1.06±0.03
配合比 (質量比)	主剤：硬化剤 = 2 : 1		————
可使時間 (23℃)	————		約 90分
指触硬化時間 (23℃)	————		約 120分

ウレタン防水材のゴムシート接着性能

項目	単 位	測 定 値	破壊個所
引張り接着強さ	(MPa)	1.30	コンクリート 17% 接着剤 45% シート接着剤界面 38% シートゴムエースP界面 0% ゴムエースPウレタン界面 0%

試験温度：23℃

## ■ 使用上の注意

- ◆材料は、直射日光の当たらない場所に保管してください。
  - ◆器具・衣服等に付着した場合は、未硬化のうちに溶剤を含ませたウエスで拭いて除去してください。
  - ◆低温（5℃未満）時や雨天（屋外施工時）に施工する場合は、硬化不良や接着不良の原因になりやすいので、施工の際は充分ご注意ください。
  - ◆缶のふたを開けたまま保管しますと、材料の表面が皮張りする恐れがありますので、保管の際は必ず主剤・硬化剤とも缶のふたを閉めて保管してください。
  - ◆皮ふに直接触れたり、蒸気を吸い込むと、体質により皮ふ障害を起こす場合がありますので、以下の点に注意してご使用ください。
- ・コンクリート槽のように換気の悪い作業環境の場合は、強制換気装置をご使用ください。
  - ・施工中は必ず保護手袋、保護メガネ、保護マスク等保護具を着用してください。
  - ・皮膚に直接触れた場合は、直ちに中性石けんで洗い落とし、異常を感じたら医師の診察を受けてください。
  - ・目に入った場合は、大量の流水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。

### ■ 製造



# ASAHI BOND

## アサヒボンド工業株式会社

本社/〒173-0031 東京都板橋区大谷口北町3-7 TEL(03)3972-4929 FAX(03)3972-4856  
新座工場/〒352-0012 埼玉県新座市畑中2丁目16番43号 TEL(048)482-6611 FAX(048)482-6610  
大阪出張所/〒544-0011 大阪市生野区田島4-5-28 TEL(06)6753-3541 FAX(06)6753-3543  
東北出張所/〒982-0003 仙台市太白区郡山谷地田東14-23 TEL(022)247-4678 FAX(022)247-4678  
広島連絡事務所/〒733-0034 広島市西区南観音7丁目12番3号 TEL(082)292-6411 FAX(082)232-4404

### ■ 販売

# HIKARI KASEI

## 有限会社ひかり化成

## ゴムアスファルト販売店

本店/〒599-8253 大阪府堺市中区深阪2丁3番60号  
TEL 072-230-2505 FAX 072-230-2510